

10年後の自分と、京都のまちの、
ミライとモンドイを考える。
京都市基本計画審議会

U35のメンバーが市民にわかりやすくレポートします！

傍聴記

vol.11

第2回融合委員会の目的 未来像の検討



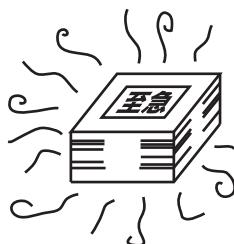
レポーター 世古 和希さん

年末年始は実家でゆっくり。2月に渡仏しパリを散歩したのち、春からは大学に復学! 四回生になる前にもう一年間休学してオーストラリアでワーキングホリをしたい21歳

会議のポイント

POINT 1.

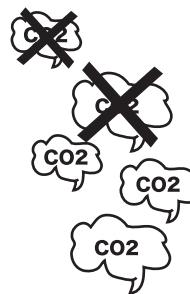
こういう計画には 嫌なことが出てこない



10年後の京都ビジョンを策定してゆくにあたって各委員がまず共有したことは、“京都が直面している厳しい現実問題に対応する”ということでした。今の基本計画を策定した10年前に比べ、危機がより私たちに認識されてきています。地球温暖化、人口減少、財政の立て直しなど私たちが嫌だと思う事項に向けて一挙体制を敷く! こうして第二回の融合委員会が始まりました。

POINT 2.

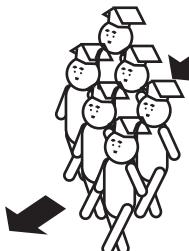
温暖化防止ではなく まち全体を低炭素社会へ移行!



環境問題について誤解してはならないのは、氷河期以来地球は温暖化し続けているのであり、それは決して防止できるものではない、ということです。むしろ人間の側こそ自然に歩調を合わせる必要があります。だから私たちは、持続可能な低炭素社会のために歩くこと、ゴミ出しなどの日々の生活から変えてゆかねばならないのです。10年後も京都に住まい続けられるように…。

POINT 3.

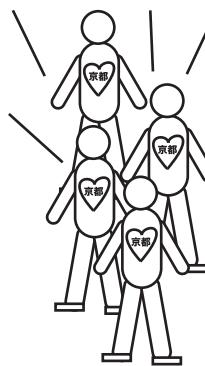
若者がたくさん来て たくさん出て行くまち京都?



京都は大学のまちなので、20歳前後の若者がたくさん来てはたくさん去ってゆくまちでもあります。この会議で尾池会長が席上で仰ったように、彼らが「また京都に帰りたいと思って出て行くのか、二度と来たくないと思って出て行くのか」が重要です。若者たちに京都の芸能や企業をもっとよく知つてもらい、世界中に京都のファンを輩出する、という発想の転換が必要です。

POINT 4.

ひとづくりはまちづくり! みんなが活躍できるまちへ!



会議は最終的に、低炭素社会やそれに合わせた京都型経済モデルのために、人材を育む必要性が議論されました。たとえば西陣織の「デザイン」や、「うま味」といった京都の味文化を上手く主張してゆけるひと。このまちには良質の水や生活の匂いがあることを知っているひと。企業や学生の機動力と彼らとが連携するなど、市民みんなの力が引き出されるまちを計画します!

今年は10年に一度の、京都市の10年後を考える年です。
市政をよく知り、よく考え、利用し、参加し、仲良くなろう

この会議を傍聴して、世古さんが思ったこと。

今回委員の皆さん議論を聞いて「都市は自然を無視できない」ことをあらためて思いました。たとえば昨今ではCO₂排出削減のために「環境は大事だ」といわれますが、一昔前の農村共同体では「自然は神さまの贈り物」であって、その重要さを認識するための科学的分析は必要ありませんでした。自然への信仰がコミュニティの凝聚力だったのです。「都市の中に緑を」も良いですが、しかし“自然の中に生じた集落”という、自然に寄り添う本来の都市の在り方=低炭素社会に、今回の基本計画がいかに迫れるでしょうか。

低炭素社会に向けた哲学的考察 ~「自然」とは何か?~

フランスの思想家J.ボーデリヤールが「自然を解体した後で記号として現実の中へ復活させる…こうして、ひとは森を切り倒して「緑の都市」と命名された集落を打ち立てる」と述べたように、私たちが普段用いる「自然」という言葉は単なる調整された“イメージ”です。メディアや企業が造り出す様々なイメージの海を漂っている現代の私たちは、思考することをほぼ彼らに明け渡しています。本当の自然とはこのヴェールを剥ぎ取り、一人ひとりが生を実感する場所にやっと立ち現れてくるものではないでしょうか。

当日のプログラム

開催日：平成21年12月22日（火） 会場：京都市国際交流会館

- ・今後のスケジュールの検討
- ・松山大耕 未来の担い手・若者会議U35議長から「未来の担い手・若者会議U35から若者提案」の最終報告
- ・第1回融合委員会でのワークショップの結果等を検討素材として、京都が目指すべき未来像を検討
- ・共済部会及び融合委員会の今後の進め方についての意見交換

「京都市基本計画審議会」、「U35」とは

「京都市基本計画審議会」とは、10年後の京都を見据えて、今後10年間の京都市の指針となる計画を立てる重要な会議です。「U35」とは「未来の担い手・若者会議U35」のことをいい、基本計画の策定に対し、未来のまちづくりの担い手として、若者ならではの観点から提言を行う、概ね35歳未満のメンバーで構成された会議です。皆さんも会議の傍聴にお越しください。

京都市基本計画審議会 第2回融合委員会 開催結果

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000073343.html>

未来の担い手・若者会議 U35

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000071812.html>